

新風

SHINPU

前川おさむ後援会会報

vol. 1 創刊号

平成3年1月1日

皆様には御家族おそろいで、すばらしい新年を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

さて、皆様のあたたかい御声援をいただき、昭和63年7月の補欠選挙初当選、そして平成元年3月の通常選挙と2度の当選を果たさせていただき、約2年半菊池市議会議員として行動させていただいております。

この間、本市もまさに波瀾万丈でありました。市長の不祥事や、財政問題、市街地活性化、校区問題、低迷する農業問題等々、新米議員のわたしにとっては大変大きな衝撃でもありました。しかしながら何の実績もない若いわたしに、2度の選挙で押し上げ

新年

あけまして

おめでとう

ございます。

これからも、皆様の期待と要望にこたえることのできる議員を目指し、若さと情熱を傾けていく所存であります。どうぞ御指導、御鞭撻の程よろしく御願い申し上げます。

最後に、平成3年のこの一年が皆様にとってすばらしいものでありますよう心より祈念してごあいさついたします。

いただいた、皆様の期待は何であったのかを常に自問しながら、一生懸命頑張ってきました。

菊池市を愛するひとりの青年として、常に前を向き、「市民が市民としての誇りをもてるような菊池市」を目指し、本市の将来像を、皆様と共に考え、行動する議員としてこれからも、頑張っていくつもりであります。

この会報は、わたしの活動の一端を皆様を知っていただき、御意見をいただくために作成いたしました。「新風」とは、はじめての選挙の時のわたしのキャッチフレーズ「未来を拓く新しい風」から、初心忘れるべからずの気持ちでつけた名前です。



前川おさむプロフィール

- 生年月日/昭和35年7月9日
- 血液型/O型
- 経歴/県立鹿本高校 昭和54年卒業、九州測量専門学校土木建設科 昭和56年卒業、現在カルフォルニアコースト大学日本校経営学部の通信教育で勉強中、東海測量設計社 昭和56年入社 昭和59年退社、株式会社 昭85年入社、株式会社ゴルフセンター 昭和59年創立、菊池市議会議員 昭和63年初当選(1期)、菊池市議会議員 平成元年当選(2期)

- 主な役職/菊池市議会経済常任副委員長
自由民主党熊本県連青年部長
菊池市商工会青年部理事
菊池青年会議所委員
日本青年会議所第五政策室委員
熊本県防衛協会青年部菊池支部長

妻・みゆき/長男・幸徳(聖母幼稚園)、二男・和徳(みゆき保育園)

M A E K A W A
F A M I L Y



"快適生活空間・菊池"を目指し!!



菊池らしさの確立と 市民のシンボル創りに ふるさと創生事業で提言



議会で質問中の前川議員

平成元年9月議会の一般質問で、懸案であった「農校跡地」問題とふるさと創生事業を財政問題から改めて質問。市長は、市民の大切な財産である農校跡地を売却しない事を約束、跡地の利用を中央グラウンド一帯を含めた市民広場の建設と、シンボル像（菊池武光公に決定）の建設を提言した。前川議員の意見に100%賛同しました。現在建設中で、平成3年度中に完成予定です。

平成元年9月議会議事録より

●前川議員

財政再建の見通しがたち、財政上の問題がなくなった今、荒木市長、是非とも市長の口から10数年間続いたこの問題に終止符を打っていただきたいと思っております。

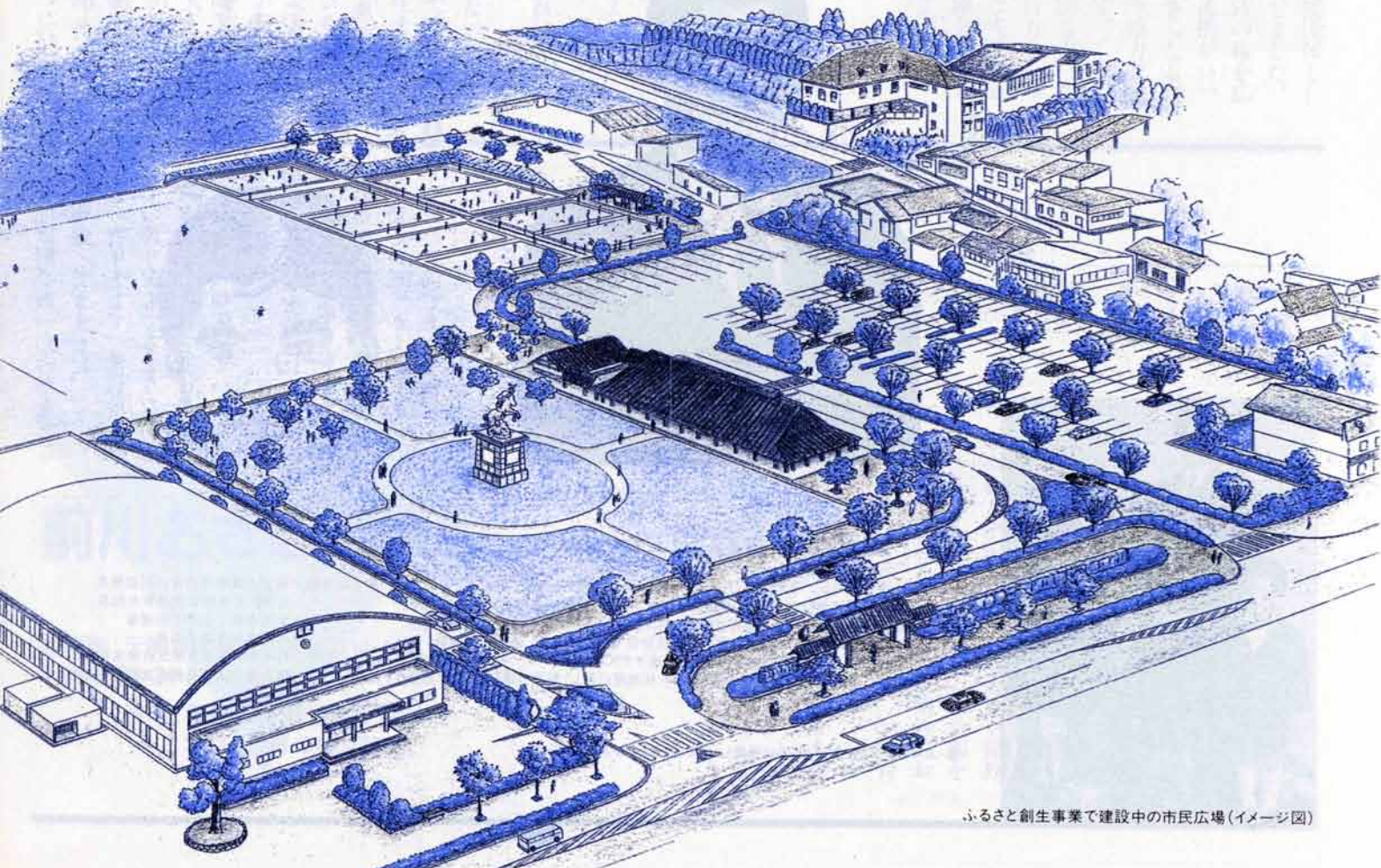
農高跡地の重要性をかんがみ、なお今後、農校跡地を売却されるつもりがあるのか、それともないのか、はっきりと御答弁お願いします。

ただいま前川議員さんの御質問、あるいは御意見を聞きながら、たいへん私は感動いたしました。私の考えておることをそのままおっしゃっていただいている、そういう気がいたしました。

農校跡地がそのような形で残っておりますが、これは市民にとっては文字通り貴重な財産でございます。

そういうことで、私も前川議員さんの主張に100%賛成でございます。

●荒木市長



ふるさと創生事業で建設中の市民広場(イメージ図)

すべての市民が豊かさをを感じる



NHK大河ドラマ「太平記」で菊池登場!!

〈5月19日午後8時より〉

「鎮西探題と菊池一族」 一分間放映予定



東京NHK放送センターで大河ドラマチーフディレクター高橋康夫氏(女優三田佳子さんの御主人)に陳情する前川議員

前川議員は、昨年春に、平成3年のNHK大河ドラマが「太平記」であるという情報をいち早くキャッチし、青年会議所のメンバーとともに上京。魚住代議士に御願いしてチーフディレクターである高橋康夫氏と面談し、南北朝時代の菊池氏の活躍や、南朝との結びつきを説明し、「太平記」で菊池氏を取り上げていただくよう陳情をした。

当初は、原作が吉川英治の「私本太平記」であり、いわゆる古典の太平記とは違うため(古典の太平記には菊池一族はたくさん登場している)非常に登場場面が少な



NHK大河ドラマ「太平記」

くきびしい状況であったが、たび重なる前川議員の陳情と熱意でついに高橋氏自ら、菊池を視察、番組の最後で一分間のミニ紀行「鎮西探題と菊池一族」の放映が決定した。

今後ドラマの中で菊池一族を取り上げて頂くような陳情を継続し、青年会議所としての活動で、「太平記」や市民広場の「武光公」の像の完成などに関連したイベントを企画中である。

また究極の目標は菊池一族の物語をドラマ化することであり、菊池の歴史を対外的にアピールすることである。

新会派「清新会」結成

市民本位の政治の具現化のため、前川議員は、森田精一議員、荒木建令議員、笠愛一郎議員の保守系若手議員と結束、議会内に派閥解消のための新会派「清新会」を結成しました。

「派閥解消」へ新会派
菊池市議会の当選(一)二回の若手保守系市議員が新会派「清新会」を結成し、二十五日、市庁舎で荒木市長ら幹部職員あいさつした。

同議会(定数二十三)の保守系は十七人だが、これまで魚住英代議員(保守系)と、反代議士の福村三男議員(六人)に分かれ、何か新会派は国政・県政レベルでは従来通りの姿勢で臨むが、市議会内では同派の調整役になること。

まちあひら交差点
うもの。メンバーは代議士の森田精一、前川、笠愛一郎の三人と、反代議士の荒木建令、四三人ともこれまで所属していた会派を離脱、今後は一体で行動するという。

「派閥をなくすための派閥」という新会派の誕生に、両派の対立は消はたれが、かやうには「派閥解消」しないこと。市民の行動を促したい」と歓迎の声、幹部職員も「議会に少しでも変化が出てくれる」と期待を寄せているのだが。

平成2年12月16日
熊日朝刊より

清新会 結成趣意書

私共4名は、今回菊池市議会内に新会派・清新会を結成することに致しました。つきましては皆様のご理解をいただくため結成趣意を申し述べます。

ご承知の通り現状の菊池市議会は、議会内が二派にわかれて事ある毎に対立する状況であります。

我々4名の若手議員は新会派を結成することにより、膠着した現状に一石を投じ、国会議員や県議会議員の派閥に捕らわれない市民本位の議会活動と保守系若手議員の役割と責任を果たすために立ち上がりました。目標は市民本位の政治の具現化と若手議員として市民の付託に答えるために互いに研鑽を重ねることであり、是は是、否は否の精神を貫き通す覚悟であります。

各位におかれましては我々の趣意をご理解頂き、ご指導を承りますようお願い致します。

森田精一・荒木建令・前川收・笠愛一郎

可能思考で生きる人



下川商店 専務
収友会会長 下川 修史

前川君の、自らが源となり、菊池をこよなく愛し、本気で菊池の活性化に貢献して行くという決意に賛同し、私たち同世代の青年として、何らかのお手伝いができたらと思い、一期目の選挙の時に、前川君の政治家としての支援と共に自らの活性化、地域の活性化を目指すといった主旨で、収友会を発足、現在では50名からの青年会員で成り立っています。私たちが見た前川君の一番のセールスポイントは、楽天才であるという事です。どんな悲観的状态の中でも、希望をすてず、99.9%駄目だと思われる状況でも、それにとらわれることなく、常に望みを持ち、常に前向きである、可能思考の持ち主です。それに、まつわるエピソードがあります。

私は、前川君と20才の頃、サーフィンをやっていました。種ヶ島に行った時の事です。今まで見た事もないような波がきました。ところが、プロのサーファーも尻ごみするような波に、彼はただ一人チャレンジして行き、結果は生と死をさまよう事になった訳です。私がある時、感じた事は、どこからあんなパワーが生まれるのか、なんて根性のあるやつなんだと感じました。

しかしながら、今もなお、その時の、パワーと根性は、保ち続けています。このパワーを市政へ最大限活用して行かれる人と確信しております。前川君の持ち前のパワーと行動力で、市政の効率化へチャレンジしてください。

行動力と正義感



南丸和建设 代表取締役
収栄会会長 渡辺 真一郎

新年あけましておめでとうございます。新春を迎え、皆様方には益々御繁栄のこととお喜び申し上げます。又、日頃、前川議員に対し、並み並みならぬ御支援を賜り心より御礼申し上げます。さて、我々の支援致します前川議員も、初当選以来三年目を迎え一年一年大きく飛躍され、もぢまへの行動力と、常に初心を忘れず、ひたむきな正義感を貫き、豊かな郷土づくりに今何が必要か、市民の皆様の声をよく聞き、市民と行政のパイプ役として、期待を大きくしているところでもあります。

一昨年前川議員の支援団体として「収栄会」を発足致しました。二年目に当り、益々団体の輪を広げ、後援者の方々との連携がいつそう強められ、市議のさらなる飛躍、活動が出来ますよう協力支援して行きたいと思っております。

地方の繁栄、振興を図る為、抜群の思考、センス、実行力をもつ前川議員を、今後益々ご支援をお願いし、ご健康、ご活躍を祈念してごあいさつと致します。



前川おさむ後援会

事務所：〒861-13 菊池市赤星2114-1(八方建設内)
TEL 0968・24・2171 FAX 0968・24・2111

自宅：〒861-13 菊池市片角119-2
TEL 0968・24・0471

後援会会報発刊について

「常に市民の声に耳を傾け、その代弁者として活動する」これがかつとも重要な議員の仕事であると思います。これまで無我夢中で頑張ってきましたが、本来の代弁者という役割を忘れ、一人よがりな行動があったのではないかと反省する点もたくさんあります。

より多くの皆様にわたしの活動を知っていただき、御意見や御教示をいただきたために、この会報を発刊しました。今後も定期的にお送りすると思っておりますので、お気付の点やご相談されたいこと、なんでも結構ですので、ご連絡をください。

微力ではありますが、努力したいと思っております。皆様の声をお待ちしています。